※令和３年度以前入学生用

学校番号	406

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅲ（光村図書）						
副教材等	くらしのペン習字　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ、Ⅱの授業で学んだことを発展させて、書道Ⅲではより高度な用筆法による表現の違い等を学びましょう。
・篆、隷、行、草、楷書、仮名、変体仮名に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・古典の臨書だけでなく、年賀状やパネル作品を作ることで生活の中に書を生かし、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 自己評価カード	観察 自己評価カード 提出作品	観察 自己評価カード 提出作品	観察 自己評価カード 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書	古典に学ぼう ・選択した古典の臨書		○	○		a:古典の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:古典の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:古典の具体的な用筆方法を身に付け表している。 d:古典の臨書が生活の中で果たしている役割を知りその効用を理解している。	観察 自己評価カード 提出作品
	漢字の書	一字書		○	○		a:各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:各書体の用筆方法を身に付け表している。 d:創作作品が生活の中で果たしている役割を知りその効用を理解している。	
	漢字仮名交じりの書	パネル作品制作 ・カレンダー	○	○		○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 自己評価カード 提出作品
2学期	仮名の書	・行書き ・散らし書き ・色紙創作		○	○		a:仮名の書の美とその表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:仮名の書の用筆方法を身に付け表している。 d:仮名の書が生活の中で果たしている役割を知りその効用を理解している。	観察 自己評価カード 提出作品

※令和３年度以前入学生用

	生活の中の書	年賀状			○	○	a:年賀状の表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけあら表している。 d:生活の中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	
３学期	漢字仮名交じりの書	作品制作 ・卒業のうた	○	○		○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。